

令和2年2月21日

利用者からの相談を地域課題としてマップ化

～相模原市が基本構想に掲げる目指すまちの姿と政策、基本計画（案）に掲げる47施策に沿って分類～

公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアムは、平成25年3月15日にオープンした相模原市立 市民・大学交流センター（ユニコムプラザさがみはら）の指定管理を受け、今日まで運用しています。令和元年度は、指定管理第3期目の1年目となります。

センターの使命の一つに地域活動や市民活動を行う市民と大学との橋渡しがあります。これに向けて市民のニーズ・シーズ調査を行うことによって課題を把握しています。

市民団体へのアンケートや区民会議・地区まちづくり懇談会に出席して情報を収集するとともに、今年度からは、施設利用者に積極的なヒアリングを行い、橋渡しの可能性がある相談144件（2019年4～12月）をピックアップしました。

今回、この相談を相模原市が基本構想に掲げる目指すまちの姿と政策、基本計画（案）に掲げる47施策に沿って分類し、傾向が分かりましたのでお知らせします。

マップの傾向

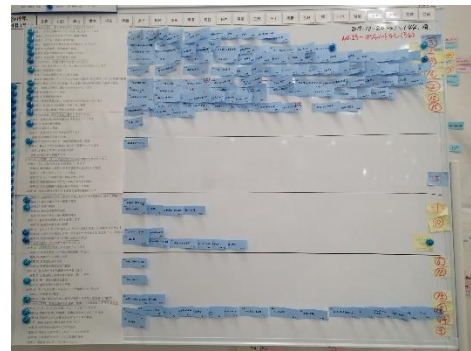
センター利用者が抱える課題は、日々の生活に密着したソフト面が多い結果となりました。

上位は以下の通りです。

1. 地域福祉を推進する
2. 多様な主体との連携・協働を行う
3. 生涯学習・社会教育を活発に行う
4. 障害のある人への支援を行う
5. 健康づくりを推進する

大学が研究テーマとして得意な課題であって、引き続き橋渡しを進めていきます。

分類に沿ってマップ化したもの



目指すまちの姿	課題件数	傾向のキーワード
夢と希望を持って成長できる	43	家庭教育、生涯学習
笑顔で健やかに暮らせる	64	地域福祉、障害、健康
安全で安心な暮らしやすい	2	災害対策、消費者保護
活力と交流が新たな価値や魅力を創造する	13	文化振興、商業振興
人と自然が共生する	4	自然管理、循環型社会
多様な主体との連携・協働により持続的に発展する	18	多様な主体との連携

相模原市が基本構想に掲げる目指すまちの姿と政策、基本計画（案）に掲げる47施策について

令和元年11月19日相模原市発表資料『『令和2年度市政運営の考え方』について』に参考として添付されている、目指すまちの姿6分野、16政策、47施策を示しています。

http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/017/920/1119/04.pdf

問合せ先：公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム

ユニコムプラザさがみはら 所長 金森 巖

電話 042-701-4370